

- 名 称**：森林共同施業団地に係る運営会議
（森林認証材サプライチェーン構築WG・民国連携推進WG合同開催）
- 日 時**：令和5年12月26日（火）午後1時半～3時半
- 会 場**：大館市北地区コミュニティセンター 本館 研修室
- 参加人数**：20人（うち事務局5人）
- 要 旨**：主な内容は以下のとおり

1 開会

2 案件 説明者：事務局（大館市産業部林政課 千葉 泰生）

（1）大館市森林整備推進協定における計画と課題について【報告】

- ・森林共同施業団地における現地検討会の開催結果や国有林道の被災状況・復旧の見通し等について報告。災害復旧工事については施業期間と被らないように調整する。
- ・森林共同施業団地周辺が猛禽類の生息地であるため、施業制限等の可能性があったが、計画地は対象外であることを確認できた。関係団体との調整は森林管理署で対応する。

（2）森林認証に関する取り組み状況について【報告】

- ・令和6年度にFM認証グループに「古河林業(株)阿仁林業所」が参加予定、「(株)長谷川萬治商店」がCoC認証を取得予定であることを報告。

（3）今後の取り組みについて【協議】

- ・次項「3 意見交換・その他」にて記述。

3 意見交換・その他

■大館市有林における具体的な森林認証材サプライチェーン構築体制設定

- ・森林認証取得者によるサプライチェーン構築体制について説明。特段の反対意見無し。

■森林認証材需要拡大に向けた需要者への認証材供給と関係づくり

- ・「建築物利用促進協定制度」による川下事業者等との連携を説明。特段の反対意見無し。
- ・認証材（原木）の供給枠確保に大きな期待を寄せている。【会員】

- ・令和6年度に約13haの間伐を計画している。市内にCoC事業者がいないため、現段階では認証材として販売できるかは未定。葛飾区の小学校の内装材に市産材活用予定。【鹿角市】

■森林整備推進協定の実行と協定範囲拡大または新規箇所の検討

- ・「大館市」、「古河林業(株)阿仁林業所」以外の新規箇所の掘り起こし案件は無いものの、一部メンバーで国有林と接している所有林があるため、連携可能性等について継続検討する。

6 閉会

写 真：



写真1 運営会議の様子



写真2 意見交換の様子